

研究・調査報告書

報告書番号	担当
23	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
An interaction between DAT1 and having an alcoholic father predicts serious alcohol problems in a sample of males. 研究参加男性においては、DAT1 とアルコール依存の父親がいることとの相互作用から深刻な飲酒関連の問題が予測可能	
執筆者	
Vaske J, Beaver KM, Wright JP, Boisvert D, Schnupp R.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Drug Alcohol Depend. 2009 Sep 1;104(1-2):17-22. Epub 2009 May 13.	
キーワード	
ドーパミン輸送体、VNTR ポリモフィズム、DAT1、アルコール中毒、男性	
要 旨	
<p>この研究では、ドーパミン輸送体(DAT1)VNTRポリモフィズムと父方由来のアルコール中毒が深刻なアルコール問題と関連するかを調べた。National Longitudinal Study of Adolescent Health (Add Health)のデータを使用して、男性における深刻なアルコール問題を予測する際、父方のアルコール中毒はDAT1ポリモフィズムと関連があることがわかった。特に、10反復のalleleは飲酒する父親がいた男性のみにおいて、アルコール問題の増加と関連した。飲酒する父親がいない男性においては10反復のalleleはアルコール問題と関係がなかった。係数解析では、アフリカ系アメリカ人の男性では、この交互作用効果が、より強いことが明らかになった。9反復のalleleのある女性では、深刻なアルコール問題がより報告される傾向にあったが、この効果は父方のアルコール中毒の影響を受けなかった。こうした分析により、DAT1と父方のアルコール中毒の付加的かつ交絡的效果は、性別と人種によって、異なって作動するかもしれないことが示唆された。</p>	